Innovation in Motion TSUBAKI

つばき　取扱説明書

ケーブルベヤ®

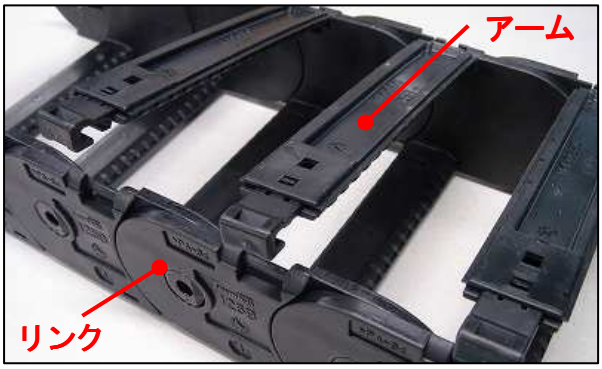
TKP68H46
（旧 TKP0680）

（注）作業の際には適切な保護具（安全眼鏡、手袋、安全靴など）を着用してください。

1．ケーブルベヤの組立

1－1　分割されたリンクを連結してアームのヒンジ側をリンクに取付けます。

（注）分割納入されたリンクを連結した後に、事前に設置後にアームが開閉しやすい方向に決定してから取付けてください。



1－2　ロッキングフックを固定する。

アームを上方から手で押さえ込み、アーム全体を下側に押し付けながらロッキングフックの頭部を横からプラハンマーで軽く叩いてはめ込みます。

2．ケーブルベヤの分割

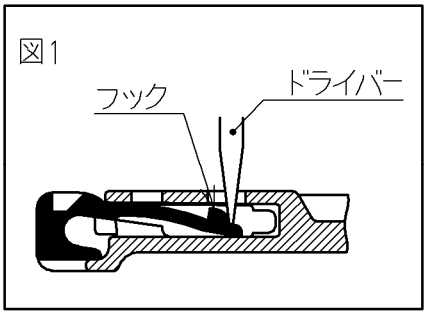
2－1　ロッキングフックを外す

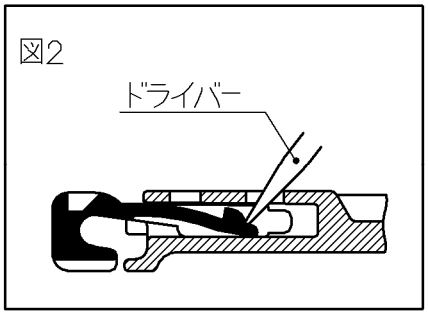
ロッキングフックをドライバーで解除しアームをリンクから外す。

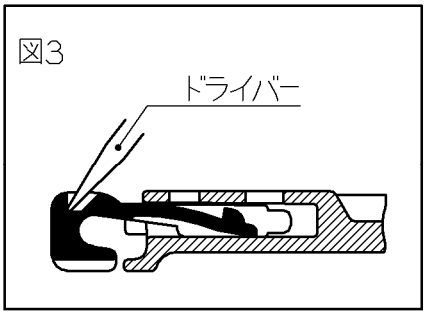
ドライバーの先端幅は４．５mm以下を使用願います。

注）ロッキングフックは次の図のようにドライバーを差込んでフックを解除願います。
ドライバーの向きを変えたり、無理に押し込むと破損の原因となります。

図１．適正な外し方
フック後部をマイナスドライバーで軽く真下に押し込む。フック部が解除されたのを確認しドライバーを寝かせながら、抜く方向に押し出す。ドライバーを放してフックが確実にアームの下に隠れたことを確認する。ドライバーを先端の溝に移しロッキングフックを確実に抜ける方向に押し出す。







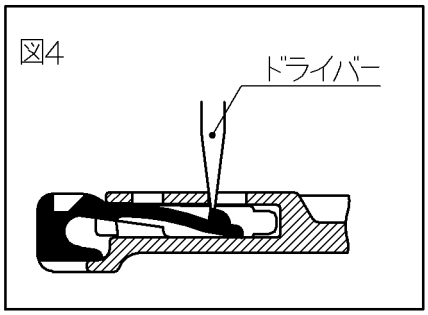


図４．誤った外し方
ドライバーでフックの上部を大きな力で押し込む。

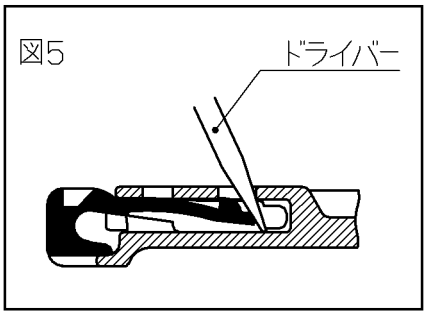
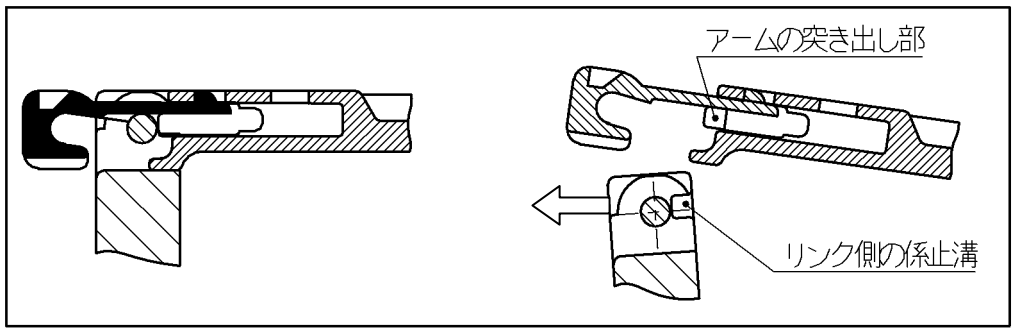


図５．誤った外し方
ドライバーを逆方向から入れてフックの後部をこねる。

２－２　アームを外す

ロッキングフックを解除しても、アーム両サイドの先端に設けた突き出し部がリンク内側の係止溝に固定されていますので、リンクを外側に押しながら倒して、アームの突き出し部を開放してください。



２－３　リンクを外す

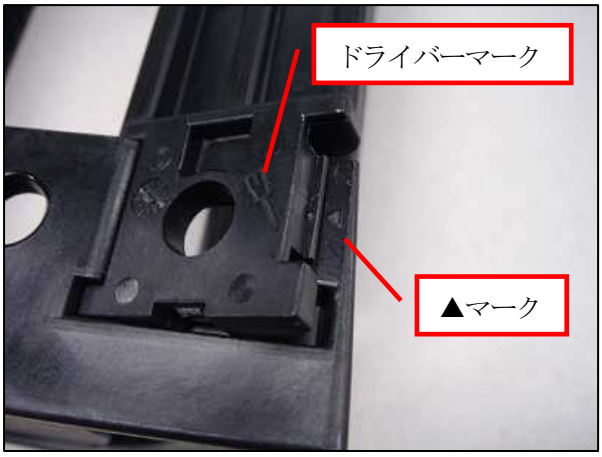
リンク間にマイナスドライバーを差込みドライバーを９０度回転させる。
他方のピンを支点にしてリンク～リンクを「く」の字形に曲げるとリンクは外れます。

（注）分割する位置の前後のアームは必ず解除するか、外してから行ってください。

３．プラブラケットの分解

３－１　合マークの確認

ブラケットの端部にある▲マークと
ブラケットアーム側に刻印された
ドライバーマークが合っているか確認します。

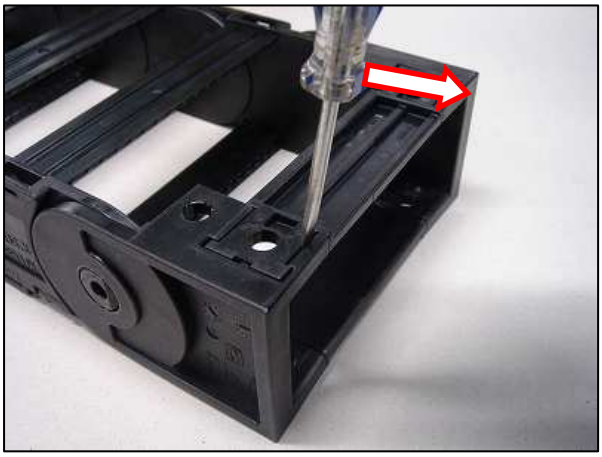


３－２　ブラケットを分解する

ブラケットの▲マークとマイナスドライバー
マークに挟まれた溝にドライバーを差し込み
▲マークの方向にこじるとロックが
解除されます。他方も同様にしてロック
を解除してアームを外します。
更に上下を反転し反対側も分解します。

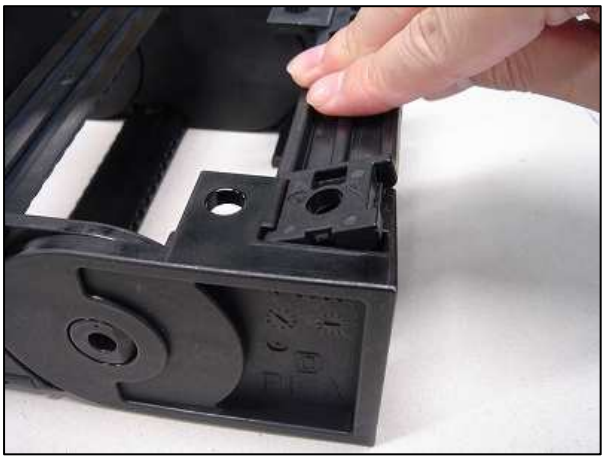
注）マイナスドライバーは細い物を使用
願います。太い物を無理に挿入する
と破損の原因となります。

**ドライバーの先端幅は　４．５mm以下
を使用願います。**



３－３　ブラケットの組込み

ブラケットアーム上のドライバーマーク
と反対側の突起部をブラケットの溝に斜め
に挿入します。この時、ドライバーマーク
とブラケットの▲マークが一致する方向に
合わせます。（方向が逆だと形状が異なる
ので入りません）
左右とも溝に正確にはめ込んだ状態で
ドライバーマーク側を下方に押し込み
カチッと音がするのを確認願して下さい。
手で押し込めない場合はプラハンマーで
軽く叩いてください。



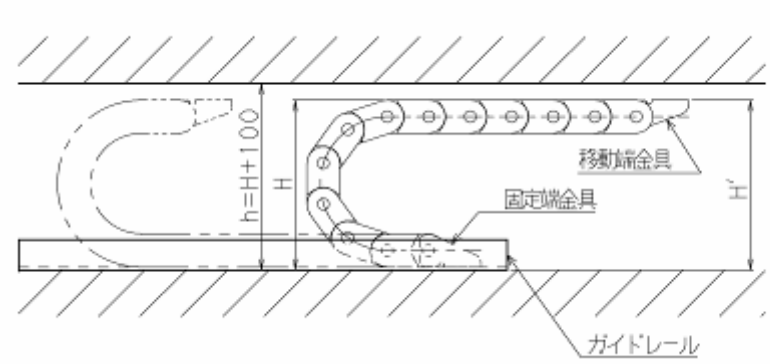
３－４　両端ブラケット（樹脂製）用のボルトの締め付けの注意

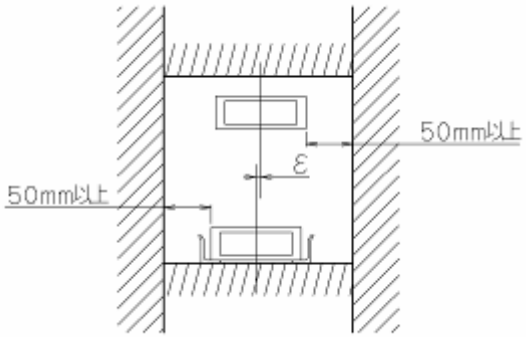
注１）プラブラケットの取付け面に凹凸がありますと破損する場合もありますのでなるべく滑らかな
平面に取付け願います。
注２）プラブラケットの取付けボルトを締めすぎますと破損する場合もありますのでご注意ください。
また、ストレート孔の方はボルトとプラブラケットの間には必ず平座金を入れてください。
注３）プラブラケットは材質が樹脂で弾性変形が大きいので取付けボルトが緩んでいないか定期的に
点検して下さい。

Ｍ８ネジ　推奨締付トルク：　　３．９Ｎ・ｍ（０．４ｋｇ・ｍ）

４．取扱上の留意点

ケーブルベヤには、ご使用によっては、フリースパン部にふくらみやたわみがあらわれますが、当社能力線図内で選定されている場合は、使用上問題ありません。





1．機械装置の移動端取付高さ（H'）は、ケーブルベヤの高さ　H＋（10～30）　としてください。
2．ケーブルベヤの空間高さ（h）は、H＋100　としてください。
3．ガイドレールを取付けてください。
4．移動端ブラケットと固定端ブラケットの取付面誤差（ε）は、6mm 以下にしてください。
5．ケーブル・ホースは屈曲性、耐摩耗性に優れた移動用のものをご使用ください。
6．ワイヤーブレード外装のものは、いたみやすいことがあるので、使用を避けてください。
7．ケーブル・ホースは積重ねて使用すると摩耗が生じやすいので、横に並べるか、横仕切板をご使用ください。
8．ケーブル・ホースは長さに余裕をもってセットし、適正な長さに調整のうえ、両端部でクランプしてください。
9．ガイドレール内に異物があると、破損の原因になりますので取除いてください。
10．次の部品は部品送りといたしますので取付時に組み込み願います。
- アーム
- 仕切板
- 金具

※プラブラケットの場合は本体に組込んで納入します。

※ 詳細はケーブルベヤカタログを参照してください。

2012 年 10 月 1 日発行 ©株式会社　椿本チエイン